

HIBAKU CITY RECORDS: HIROSHIMA

ヒロシマ 被爆都市手帳

被爆と復興を体感してもらうための散策マップ



やりたいこと

ckinoco（キノコ）は、広島出身者からなるグループです。

デザインやクリエイションを通じて、自分たちなりの平和活動に取り組んでいます。

私たちは、戦後80年という節目に、

「原爆が残した痕跡」をたどる地図を制作しています。

きっかけは、既存の配布物に、知りたい情報が一つにまとまっているものがなかったこと。

作りたかったのは、一冊で「過去」と「現在」の広島を行き来しながら学べる資料。

実際にその地図を片手に、ヒロシマを「自分の足」で感じるができるもの。

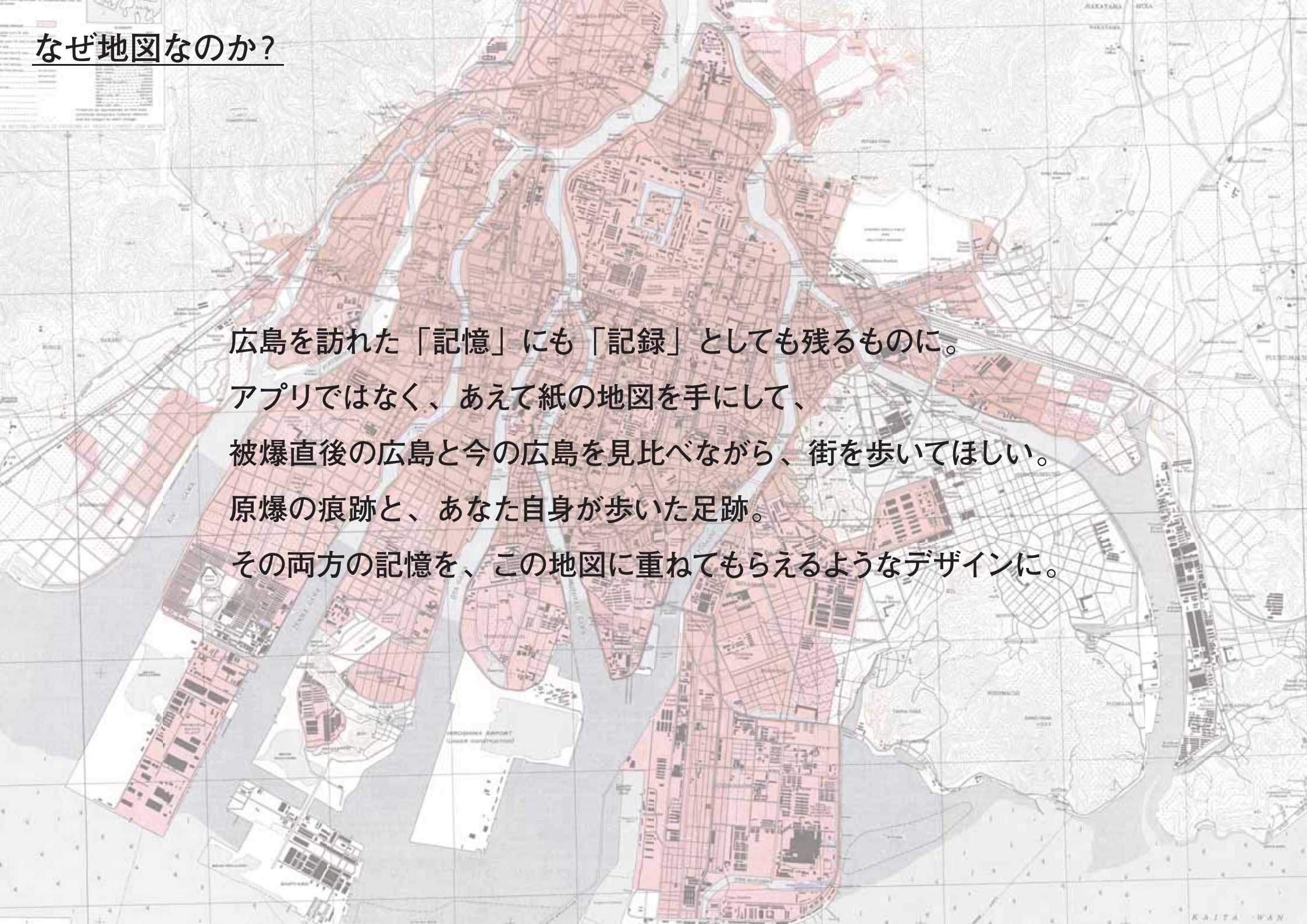
原爆の証人である被曝樹木や被爆建物も時が経つにつれ失われてきている

その被爆遺産の保存活動のひとつとして。

そして、ドーム周辺のみならず広範囲の被害があったこと、

80年経った今も多く残る原爆の爪痕があることを知ってもらいたい

なぜ地図なのか？



広島を訪れた「記憶」にも「記録」としても残るものに。
アプリではなく、あえて紙の地図を手にして、
被爆直後の広島と今の広島を見比べながら、街を歩いてほしい。
原爆の痕跡と、あなた自身が歩いた足跡。
その両方の記憶を、この地図に重ねてもらえるようなデザインに。

伝えたいこと

①原爆投下時の広島の被害状況

②黒い雨の被害地域

③「ヒバク」「ヒバクシャ」という言葉、存在

④被爆遺産（樹木、建築、橋梁）

⑤市民による復興活動について

このような情報を一冊の手帳としてまとめたものです。



HIBAKU CITY RECORDS: HIROSHIMA

【被爆都市手帳】

1945.8.6

原爆による惨劇を忘れないために

これは、広島への原爆投下後、
開発に携わった米国人科学者の
「放射能は約70年は消えない。広島は75年近く荒廃の地となるだろう。」
という談話に由来し、人々に広く伝わる言葉となった。

80年前のあの日。一発の原子爆弾により広島は焦土と化した。
この緑豊かな街へと復興を遂げた広島から、当時の状況を想像することは難しい。

75年間は草木も生えぬ

爆風や熱線を受けながら生き延びた木々、建物、橋が、
あの日の証人として今も静かに語りかけています。
私たちは原爆の惨劇を忘れぬよう、原爆投下後の広島と、
被爆遺産の所在を記した現在の広島を地図にし、
「被爆都市手帳」と名付けました。
この手帳を片手に広島を歩きながら、
原爆の記憶をとどめた被爆遺産を知り、
平和への道のりを、ともに歩んでいきませんか。

全体のデザイン

「被爆都市手帳」

HIBAKU CITY RECORDS : HIROSHIMA

A6 サイズの手帳型の地図

中面 B2 折り畳み

日本語版 / 英語版 各 2,000 部

想定販売価格 1,000 円（税抜き）

1945 年面：当時の被爆状況

2025 年面：被爆遺産（樹木、建物、橋梁）

の所在、市民による復興活動など

表裏で見比べれる作りになっています

- 掛け率：買取：掛率 70%
- ロット：5 冊から 5 冊単位
- 表示金額はすべて税抜き
- 送料：10 冊から発送無料 10 冊未満の場合は送料 520 円
- 委託取引：買取の掛け率 (70%)+10% を原則
期間限定の場合のみ委託に対応いたします。
委託期間をご相談ください。
- 委託の返本の送料はご負担ください。
- その他、ご要望があればお問い合わせください。

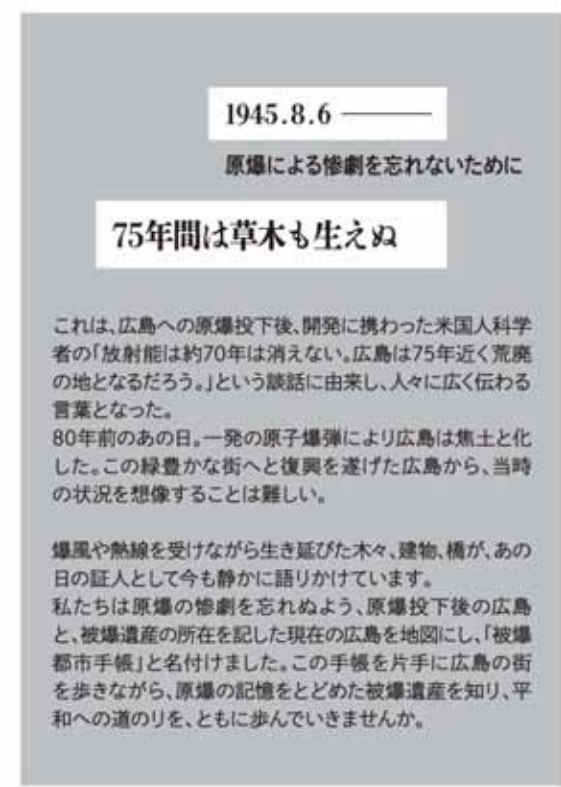
表4



表1



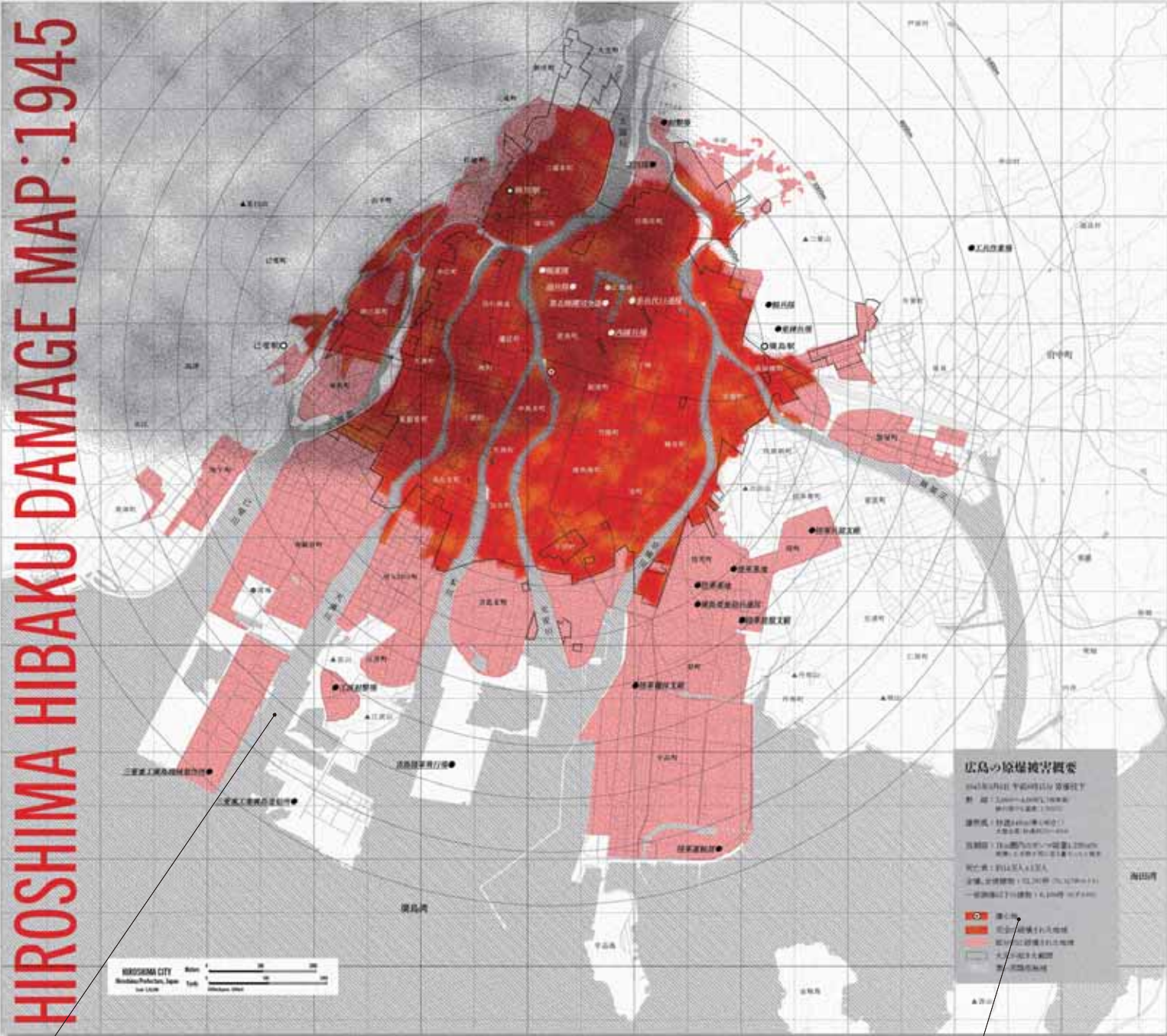
見開き



表(1945年)

当時の被爆状況、惨劇を記載した地図とそれに関連した情報(※制作中、情報は精査しております)

当時の被害状況
などの情報



戦前の広島

戦前の広島は、軍事の要所として多くの施設が設置された。日清戦争、日露戦争では軍需物資の集積地として、軍需として発展していた。その後も広島では軍需施設の集積地として、軍需物資の集積地として発展していた。戦後は軍需施設が撤去され、多くの施設が軍需工場として建設された。

原爆の使用、原爆の投下

第二次世界大戦末期、日本の戦況は次第に不利となっていた。連年の爆撃で都市は壊滅的な被害を受け、市民は死傷した。連年の爆撃で都市は壊滅的な被害を受け、市民は死傷した。連年の爆撃で都市は壊滅的な被害を受け、市民は死傷した。

原爆による熱線、熱風、放射線の被害

8月9日午前8時15分、広島市に原子爆弾が投下された。約45秒後、広島市の中心部に巨大なキノコ雲が立ち上り、爆発の衝撃波が市内を伝った。爆発の衝撃波が市内を伝った。爆発の衝撃波が市内を伝った。

原爆による死亡率及び罹災率

広島市は約35万人の人口を有していた。戦後の広島市は約35万人の人口を有していた。戦後の広島市は約35万人の人口を有していた。戦後の広島市は約35万人の人口を有していた。

黒い雨

原爆の投下後、広島市には黒い雨が降った。黒い雨は、原爆の放射線によって生成された。黒い雨は、原爆の放射線によって生成された。黒い雨は、原爆の放射線によって生成された。

広島市の原爆被害概要

1945年8月9日午前8時15分、広島市に原子爆弾が投下された。約45秒後、広島市の中心部に巨大なキノコ雲が立ち上り、爆発の衝撃波が市内を伝った。爆発の衝撃波が市内を伝った。爆発の衝撃波が市内を伝った。

当時の被害状況を見れる地図

大まかな被害状況
黒い雨の散布地域など

表紙、見返し部分

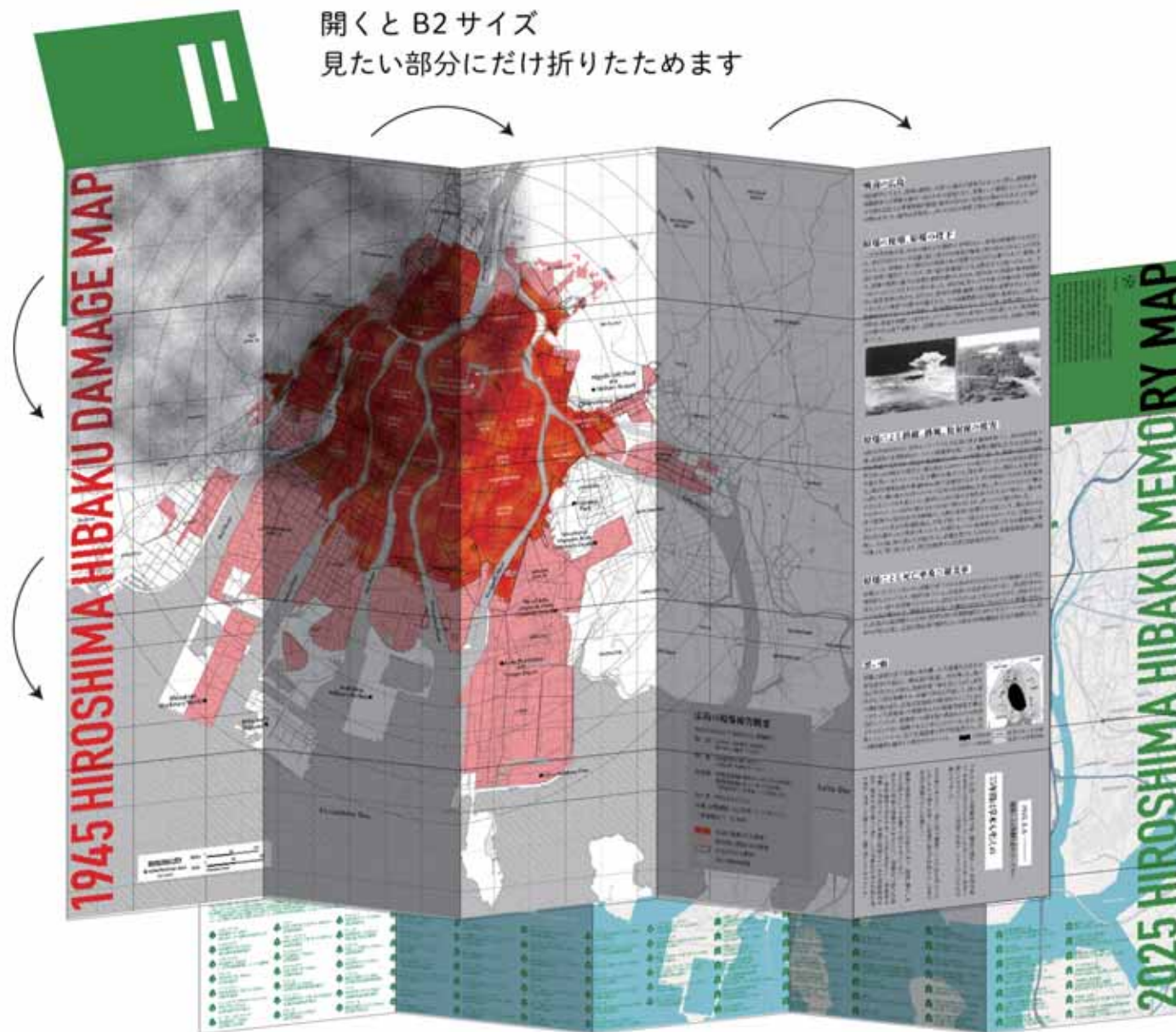


A6 サイズ



カバーを開くと
折りたたみ型の地図が

開くと B2 サイズ
見たい部分にだけ折りたためます



表面が 1945 年の原爆投下の広島状況
裏面が 2025 年の復興した広島状況

私たちのこと



CKINOCO

ckinoco(キノコ)

広島出身のアーティストとデザイナーのユニット。広島を学び、未来へ繋ぐ活動をモットーとする。アートとデザインの境界を超え、「Love & Peace」をテーマに様々な分野に挑む。

<https://8036.kawaiiishop.jp/>

 @papierpot

柳川 敬介(ヤナガワ ケイスケ)

広島県生まれ。東京在住。2011年にデザイン会社「ハンサム」を設立。様々な分野、クライアントのアートディレクション、デザインを行う。また「価値のなくなったものを価値あるものにする」という考えのもと自主制作も行う。

<http://8036.jp/>

 @yanagawa_keisuke

小平 篤乃生(コヒラ アツノブ)

広島県生まれ。現代アーティスト。フランスを拠点に国内外で活躍。「あらゆるメディアや歴史は緩やかに絶え間なく繋がっている」という考えのもと、考古学とは別の視点や解釈からの歴史を提示し、国家が成立する前の人間の営みや自然との共存を探し求め、五感を喚起させる体感的な場と作品をつくり続けている。

<https://atsunobukohira.wordpress.com>

 @astunobukohira

CONTACT

mail atsunoy@gmail.com

小平 篤乃生

kohira atsunobu

mail yana@8036.jp

柳川敬介

yanagawa keisuke

 @papierpot



instagram



web site